

2023年6月7日

世界の人びとのための JICA 基金
第 30 回運営委員会 議事録

日時：2023年6月7日（水）14：00～16：15

開催方法：オンライン

出席者：

1. 運営委員（敬称略）

朝日新聞社 Globe 編集部員（with Planet シニアエディター） 藤谷 健

認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 代表理事 鶴尾 雅隆

認定特定非営利活動法人地球市民の会 プロジェクト・シニア・フェロー 大野 博之

認定特定非営利活動法人 ACE 代表 岩附 由香

JICA 国内事業部 部長 福田 茂樹

2. オブザーバー

JICA 企画部総合企画課 石川 剛大

3. 事務局

JICA 国内事業部 市民参加推進課 課長 日浅 美和

JICA 国内事業部 市民参加推進課 川津 詩乃

JICA 国内事業部 市民参加推進課 久世 陽子

議事：

1. 2023 年度における寄附金の配分方針

2022年12月14日～2023年3月15日まで JICA 寄附サイト上で「2023 年度世界の人びとのための JICA 基金活用事業」の提案事業の公募を行った。

前回、応募数が 18 件であったため、ネットワーク NGO 等による協力に加え、JICA 国内機関、国際協力推進等による告知を強化した結果、今回 52 件の応募があった。そのうち前回より、対象となった日本国内の多文化共生案件は 17 件。

一次審査を通過した 39 案件を運営委員会にて協議し、結果 36 案件（海外案件 23 件、国内案件 13 件、但し、伴走支援者配置及び事業計画精査に係る条件付き採択を含む）が採択となった。

2. その他

(1) 2022 年度 JICA 寄附金事業報告

「世界の人びとのための JICA 基金」 2022 年度における寄附金受入・支出実績

事務局からの報告概要以下のとおり：

- 2022 年度の寄附受入額は 20,180 千円（前年度比 39%増）
- 2022 年度の寄附金使用実績は 17,870 千円（同 259%増）
- 残余金は 118,734 千円（同 2%増）

（２） JICA 寄附金事業及び JICA 基金活用事業のあり方について

（事務局）JICA 基金活用事業について、実施団体・JICA 双方の事務負担軽減等を目的とし、案件ごとの支援額（上限 100 万円）の上限を見直す案も検討中。ご意見をいただきたい。また今後の JICA の寄附金事業のあり方等併せてご意見をいただきたい。

（運営委員）

①JICA 基金活用事業の支援上限額について

- ・物価も上がっているため、上限金額を上げるのは一案と考える。
- ・海外渡航を含む案件は特に費用がかさむため、上限額を上げるのは賛成であるが、団体規模によっては 100 万円でも使い切れない団体もあることに留意が必要。

②JICA 基金活用事業を通じた NGO 団体の育成について

- ・今回の募集では、財政規模の小さい団体にフォーカスしたところ、応募数は増えたが、計画内容が不明確な提案が多い印象。JICA 基金から草の根へのステップアップを支援する取り組み、能力強化等を考えていきたい。

③JICA 寄附金事業の在り方

- ・JICA は、寄附金の在り方について NGO と対話を続けている点を理解。

以上